

## 梶山地方創生担当大臣が土佐FBCを視察

梶山弘志地方創生担当大臣が12月9日高知県を訪問し、産学官民連携による産業振興や地域活性化の取組事例を視察し、大学役員らと懇談を行いました。

梶山大臣は、高知市の高知県産学官民連携センターで尾崎知事らと高知県における産学官民連携の取組について意見交換を行った後、四万十町で園芸先進国オランダの技術を導入した次世代施設園芸団地などを訪問し、夕方、高知大学物部キャンパスを視察しました。

南国市の物部キャンパスでは、高知県の食料産業の中核人材を育成する「土佐フードビジネスクリエーター人材創出事業（土佐FBC）」の「食品衛生学」の講義視察のほか、土佐FBC修了生3名や脇口宏高知大学長らと産学官民連携事業等の取組について意見を交わしました。大学の取組紹介では、受田浩之副学長（地域連携担当）から、土佐FBC事業概要、高知県と一体となって地域のニーズの把握や課題解決に繋げる「高知大学インサイド・コミュニティ・システム事業」、地域の未来を拓くリーダーを育成する「地域協働学部」、県内の若者定着と雇用創出を掲げる「まち・ひと・しごと創生高知イノベーションシステム」などの地域貢献事例や地方創生に向けた高知大学の挑戦について説明が行われました。

梶山大臣からは、「地方大学をいかに活用するかがこれからの地方創生の鍵であり、また地方大学の役割である。高知大学に関しては地域への課題に対して県と連携を取りながらしっかりと取り組んでいると感じた。」と高い評価をいただきました。

なお、地方創生担当大臣が本学を視察するのは、山本幸三前大臣に引き続き本年度2度目です。



高知大学での梶山大臣（右端）との懇談会



高知大学での梶山大臣（中央）との懇談会



高知大学での梶山大臣（左から3人目）との記念写真



次世代施設園芸団地の視察